

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 20 年 9 月 11 日 (2008.9.11)

【公表番号】特表 2008-519352 (P2008-519352A)
 【公表日】平成 20 年 6 月 5 日 (2008.6.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-022
 【出願番号】特願 2007-540045 (P2007-540045)
 【国際特許分類】

G 0 5 D 3/00 (2006.01)

B 6 4 G 1/28 (2006.01)

H 0 2 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 5 D 3/00 A

B 6 4 G 1/28 B

H 0 2 N 1/00

【手続補正書】
 【提出日】平成 20 年 7 月 28 日 (2008.7.28)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

軸 (2 7 0) を有するスラット (2 0 6) と、

前記スラットに配置され、各マイクロホイール (2 0 4) は第 1 のステータウェーハ (2 0 8) と、第 2 のステータウェーハ (2 1 0) と、前記第 1 および第 2 ステータウェーハの間に配置されたロータウェーハ (2 1 2) とを有し、前記第 1 および第 2 のステータウェーハ (2 0 8 、 2 1 0) は前記ロータウェーハをスピンさせるよう構成される、複数のマイクロホイール (2 0 4) と、

前記スラットに接続されかつ前記スラットを少なくとも部分的に軸 (2 0 7) 中心に回転させる構成とされるアクチュエータ (1 0 4) と、
 を備えるビークル制御システム (2 0 0) 。

【請求項 2】

前記スラットは第 1 の縁 (2 5 6 a) および第 2 の縁 (2 5 6 b) を有し、

前記アクチュエータはロッド (2 5 4) および作動機構 (2 5 8) をさらに備え、前記ロッドは前記第 1 および第 2 の縁と前記作動機構とに接続される、請求項 1 に記載のビークル制御システム。

【請求項 3】

前記スラットは第 1 の縁および第 2 の縁を有し、

前記アクチュエータはコード (2 6 0) および作動機構をさらに備え、前記コードは前記第 1 および第 2 の縁と前記作動機構とに接続される、請求項 1 に記載のビークル制御システム。